

しだれ桜

2023年度 郡上市立八幡小学校
学校だより No.4 7月号
今年度の教育理念
「一人ひとりの可能性が拓く学校」

むごい教育

校長 野々田光則

今年の大河ドラマは「どうする家康」です。徳川家康という様々なエピソードがありますが、家康が幼少期に今川義元の人質となっていた頃の「むごい教育」が印象に残っています。

戦国時代、駿河国（今の静岡県）の今川義元は、竹千代（後の家康）を人質にとりました。義元は家臣に対して、「竹千代にむごい教育をせよ」と命じました。義元の本来のねらいを知らない家臣たちは「むごい教育」として、粗末な食事、休みなしの武術の訓練や力仕事等、厳しい生活をさせました。これを知った義元は、大変激怒し、家臣に対してこう言います。

「人質の竹千代には好きなだけ馳走を与えよ。寝たいと思ったらいくらでも寝かせてやれ。夏は暑くならないように、冬は寒くならないようにしてやれ。学問がいやならやらせなくてもよい。何でも好きなようにさせてやれ」と言い、その後こう言います。「そうすれば、たいていの人間はだめになるから。」・・・

（義元は、家康の才能を見抜き、このまま大人になっていくと面倒な相手になると警戒した、とのこと）

苦労話を感動的にするために、エピソードが盛られている可能性はありますが、実際には厳しい人質生活を送り、今川義元の名軍師と言われる太原雪斎に叩き込まれたことで、やがて天下人へと大成する人格が形成されたのではないかとされています。

さて、現代の子どもたちを取り巻く状況はいろいろであり、変化も激しい世の中です。この世の中で生きている子どもたちに、喫緊な課題として起こっているのがゲーム依存による「ゲーム障害」です。（新たな病気として2019年5月に国際疾病分類に追加）

ゲーム障害というのは、ゲームを好きなだけやって自分で自分がコントロールできなくなり、日常生活に支障が出る病気です。あるクリニックの調査では、ゲーム障害で受診した9歳～46歳までの患者さんに起きた問題を調べたところ、59%が「欠席・欠勤」、33%が「ひきこもり」に、76%が「朝起きられない」、60%が「昼夜逆転」が起きているという結果でした。下記が、ゲーム障害の8つの兆候です。

- ・ゲームをする時間がかなり長くなった
- ・夜中までゲーム続ける
- ・朝起きられない
- ・絶えずゲームのことを気にしている
- ・ほかのことに興味を示さない
- ・ゲームのことを注意すると激しく怒る
- ・使用時間や内容などについて嘘をつく
- ・ゲームへの課金が多くなる



2年生は生活科の学習で、野菜の成長の様子をタブレットを使って、自分たちで写真を取りあって記録しています。

いよいよ夏休み。夏休みは子どもたちにとって楽しいものであってほしいと思いますが、このような状態に向かっていく危うさもあります。むごいの対照語に「ほどよい」という言葉があります。夏休みは生活のルールを守りつつ、「ほどよく」また「気持ちよく」家庭で生活し、夏休み明けは、心身ともに元気に学校に登校できる子どもたちに会いたいです。夏休み、よろしくお願いします。

笹の葉の短冊に願いを込めて… 人権七夕集会

7月5日に福祉委員会の児童が企画をし「人権七夕集会」を行いました。

人権擁護委員の杉下様をお迎えし、話を聞いたり、福祉委員会の児童による人権をテーマにした読み聞かせを聞いたりしました。子供たちは、自分の言動を振り返り、お互いを思い合い、みんなが笑顔に生活できるために自分ができることや、こんな自分になりたいという願いを、短冊に書きました。そして、全校みんなで自分の願いを交流しました。その後、地域の方が、当日の朝、準備くださった竹に短冊を付けました。さっそく、相手を思いやる言動がたくさん見られました。



人権とは「誰もが幸せに生きる権利」のことです。相手を思いやる心は、言葉で学ぶより、実際に思いやっている姿をたくさん見ることで、子供の心に育まれていきます。身近な私たち大人が手本となって、子供と一緒に喜び、悲しみ、愛することで、子供の心にしみわたっていきます。

和歌を詠む

「はばたき」の学習では、講師の清水先生、井上先生をお招きし、4年生が和歌を詠む学習に取り組みました。自分のイメージが伝わるよう、「ことば」を選んで一句をつくり、さらには、お気に入りの一句を詠うことにも挑戦しました。イメージが伝わる喜びや面白さを実感しました。



【お願い】遅刻や早退等で学校に来校されたとき

学校では、全校一人一人の確実な見届けを大切にしています。

登校時間（朝7：45～8：10以外）に来校された場合は、職員室の職員に、必ず、お声掛けをお願いいたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。